

1時間30分

2月9日 水

〈問題〉

587 × 34 の筆算のしかたを、せつ明して  
みましょう。

	5	8	7		
×		3	4		
	2	3	4	8	
	1	7	6	1	0
	1	9	9	5	8

〈かたひ〉

筆算のしかたを、考えて、587 × 34 の筆  
算のしかたを、せつ明をしてみよう。

〈自分の考え〉

まず 587 × 34 の筆算のしかたを、して  
みます。

まず 7 × 4 を計算してみます  
7 × 4 を計算してみたら、28になるけど  
ぐり上がりがああるので、次に、8 × 4 + 2 を  
計算してみます。

そして、5 × 4 を計算してみます。  
5 × 4 を計算してみたら、20になります。  
次に、3 × 7 を計算してみます。  
3 × 7 を計算してみたら、21になるけど  
ぐり上がりがああるので、8 × 3 + 2 を計算し  
てみます。

8 × 3 + 2 を計算してみたら、26になるけ  
ど、またぐり上がりがああるので、5 × 3 + 2



がつ には ようび

を計算してみます。  
5 × 3 + 2 を計算してみたら、17になりま  
す。  
さらに、もう計算する数がないので、合わせ  
ます。  
合わせてみたら、19958 になるので 58  
7 × 34 の答えは、19958 になると思ひ  
ました。

〈まとめ〉

のちかける計算をくふうしたり、かけ算九九  
の決まりを、便、たりすると、かけ算の筆算  
がかんたんになる場合があるんだ。  
また、かけられる数が大きくな、ても、筆算  
のしかたは、同じだ。  
あと、587 × 34 の計算は、かける数の 5  
00 と 80 で、分けて計算してみたら、答え  
をもとめられる。

〈ふり返り〉

587 × 34 の、筆算のしかたが分かりまし  
た。



たけるくん、このノート、  
さいごまで使、2こ使  
ありがとう。

2/10

考えたことを、  
言葉(文)でせつ明  
できましたね。すこいね。